

「サテライト 2018 国際会議・展示会」が開催

神谷 直亮

「It All Starts With A Connection (接続からすべてが始まる)」をテーマに掲げた「サテライト 2018 国際会議・展示会」が、3月12日から15日までワシントン・コンベンション・センターで開催された。第37回を迎えた今年の会場には、世界の衛星通信・衛星放送事業者、衛星メーカー、衛星打ち上げサービス事業者、通信・放送機器メーカーなどから14,500人の関係者が集結した。日本からは、スカパーJSAT、放送衛星システム、ATコミュニケーションズ、三菱電機、三菱重工業、NEC、東芝、新日本無線などが参加していた。

今年の国際会議のプログラムは、全体会議が3回、パワーセッションと名付けた準全体会議が5回、テーマ別的小フォーラムが70回という盛沢山な構成であった。

まず、会期の初日に集中して、テレビ関連の小フォーラムが午前と午後、午後2回開催されたのでレポートする。取り上げられたテーマは、「直接衛星放送 (DTH) の持続性」「ウルトラHD (UHD) ライブイベント」「究極のエンターテインメント・パッケージの構築」「5Gとの相互運用」であった。

「直接衛星放送の持続性」のフォーラムに出席したのは、ターナー放送システム、インテルサット、イスパサットの3社だ。

ターナー放送システムは、「ケーブルテレビ最大手の米コムキャストが、310億ドル

を投じて英国のSky (衛星放送事業者) を買収しようとしており、世界的にDTHの価値を高めた」と述べ、DTHの根強い持続性を強調した。

インテルサットは、「世界各国で、現在30のDTHプラットフォームを提供し、視聴可能者の総数は5,000万に達している。今後の課題は、衛星によるDTHサービスの勢いを維持しながら、地上の大手ケーブルテレビ事業者やIPTV事業者とのダブル契約を獲得していくこと」と語った。

スペインのイスパサットの代表は、「現在ヨーロッパとラテンアメリカでそれぞれDTHサービスを行っている。今後の課題は、リニアDTHとVODの組み合わせ、UHD (4K) 番組の補強、IP化への対応と考えている。これらを踏まえて、新しい試みとして、Kuバンド中継器によるDTHサービスと同じ衛星に搭載したKaバンド中継器による広帯域インターネット・サービスを始める」と述べ、2本立てのバンドリング・サービスに期待を寄せていた。

「UHDライブイベント」のフォーラムには、ユーテルサット、Amplive、スイッチボード・ライブが登場した。

パリに本社を構えるユーテルサット社の代表は、同社が手掛けたUHD (4K) ライブイベントとして、全仏オープンテニス (Roland-Garros French Open) と欧州チャンピオンズリーグのサッカーの試合を挙

げた。前者はフランサット (フランスの無料デジタルテレビ局) 向けに決勝戦を、後者はRAI (イタリア放送協会) と共同で準決勝と決勝戦を放送したという。どちらもユーテルサットの「ホットバード」衛星を使用しており、今年も再度トライする計画とのことであった。ユーテルサットは、ライブイベント以外にも積極的にUHDに対応しており、今年に入って「ファッションTV UHD」と「Travelxp UHD」をラインナップに加えたと言っていた。

アメリカのAmpliveとスイッチボード・ライブの両社は、ストリーミング・プラットフォームの運用サービスを得意分野としており、今後の注目UHDイベントとして挙げたのは、「eSports」 (ゲーム対戦競技) であった。両社とも「カメラワークでかなり高度な技術が必要とするが、色々と工夫を凝らして挑戦する」と意気込みを語った。

「究極のエンターテインメント・パッケージの構築」のフォーラムには、グローバル・イーグル・エンターテインメント (GEE)、YuVue、Ampliveが登場した。

GEEは、「現在180の航空会社に乗客向けエンターテインメント・サービスを提供している。最近の成功例としては、インドとオーストラリア向けに獲得したクリケットの試合の独占配信権が挙げられる。また、新規ビジネスとして、旅客機内だけでなく、空港のラウンジ向けのサービスも始めた」と述べた。司会者から衛星通信業界への要望を聞かれたのに対しては、「安定したブロードバンドサービスの広域での提供が何よりも望まれる。この観点から、間もなく始まる低軌道グローバル周回衛星サービスに期待している」と答えていた。

YuVueの代表は、「米国で提供されているディッシュ・ネットワークとSling TV、ATT傘下のDirecTVとDirecTV Nowがベストな2大エンターテインメント・パッケージと言える。最近の動向として注目され



写真1 「直接衛星放送 (DTH) の持続性」のフォーラムには、向かって右から司会者、ターナー放送システム、イスパサット、インテルサットが出席した。



写真2 スカパーJSATは、ソニーの4Kテレビで、同社が制作した4K HDR番組のハイライトを紹介して来場者を魅了した。

るのは、コムキャストによる英国の Sky の買収戦略で、ケーブルテレビと衛星放送のパッケージ化を狙っていると思われる。個人的に注目しているもう 1 点は、アメリカでスポーツに特化した OTT サービスを提供している Fugo TV をめぐる動き」と大所高所からの持論を展開した。

一方、AmpLive の代表は、「米国では、意外にも加入料の高いスポーツ番組を抜いた小粒のパッケージへの加入者が増えてきており注目に値する。また、X-Box を対象にしたエンターテインメント・パッケージにも注目が集まっている」と観点を変えた発言を行っていた。

次いで、映像関連のテーマを取り上げて注目を集めたのは、旅客機の乗客に家庭と同様なインターネットとエンターテインメントの提供を目指す「In-Flight-Connectivity(IFC)」の小フォーラムだ。このフォーラムには、パナソニック・アビオニクス、GoGo、グローバル・イーグル・エンターテインメント (GEE) が出席した。

パナソニック・アビオニクスは、JAL の国際線と ANA の国内線・国際線に IFC サービスを提供しており良く知られる。今回、同社は、「eX1」「eX2」に次ぐ第 3 世代「eX3」のサービスの PR に余念がなかった。同社によれば、HD と 3D コンテンツを再生できるこの「eX3」が、「早速、エア・チャイナとイスラエル・エアラインに納入が決まった」と語り実力を誇示した。

GoGo は、「エアラインにより、使用する周波数が異なり、また、サービスも有料と無料に分かれている。各社のビジネスモデルへの対応が苦労の種だ。当面の方針としては、Ka、Ku、Lバンドを含むマルチバンド・システムに力を入れていく。また、GEO のみならず、LEO や MEO 衛星も含めたマルチモードに早急に対応していくことが必要と考えている」と現状を吐露した。

GEE の代表は、「機内におけるインター



写真3 ヴァイアサット社は、同社の Viasat-2 衛星を使用して 4K HDR の高画質ビデオ配信のデモを実施して注目を集めた。

ネット・サービスの帯域とスピードに対する乗客の要求は膨れ上がるばかりである。このためアメリカでは、大容量、高速サービスを可能にするヒューズ社のジュピター衛星を契約した」という。一方、航空会社は、衛星が使えない空白空域や料金問題でまだ悩んでいるのが実態で「サウスウエスト航空と共同で、どのように最適化すべきか多角的な検討を始めている」と述べていた。

一方、UHD (4K) の競演で注目を集めてきた展示会場は、今回、出展者が例年より少なかった。かなり徹底して見て回ったが、4K を取り上げていたのは、スカパー JSAT、ヴァイアサット、イスパサット、ロッキード・マーチンの 4 社にとどまった。スカパー JSAT は、昨年と同様にソニーの大型 4K テレビをブースに設置して、スカパー・ブロードキャストイングが制作した 4K HDR 番組のハイライトを紹介して来場者を魅了していた。また、同社が運用サービスを行っている 17 機のフリートを凶

解した大判のチャートを正面に飾って積極的な PR を行った。特に、今年第四四半期に打ち上げ予定の「Horiozn-3e」、2019 年に投入予



写真4 イスパサット社は、同社が主催した「国際 4K ショート・フィルム・フェスティバル」の入賞作品を上映していた。

定の「JCSAT-17」、「JCSAT-18」の売込みに力が入っていた。

アメリカで衛星による大容量ハイスループット・サービスを展開しているヴァイアサット社は、同社の Viasat-2 衛星を使用することで、4K HDR の高画質ビデオ配信が 50Mbps で実現できると、伝送データをサムソンの 4K テレビ画面に表示して PR に余念がなかった。

スペインのイスパサット社は、同社が毎年実施している「国際 4K ショート・フィルム・フェスティバル」の入賞作品のハイライトを上映して注目を集めた。

ロッキード・マーチンは、NASA が制作した宇宙の活動を題材にした 4K 番組を再生して見せていた。

Naoakira Kamiya
衛星システム総研 代表
メディア・ジャーナリスト

SWE DISH

ニッサン新エルグランド4WD
5名定員

1.2m径・自動捕捉アンテナ搭載
車高2.2m 以下(地下駐車場可)

3.6 KVA NMG アイドリング運用
水圧エコ・ポール4m 搭載
強化サスペンション
国内 (100V) 海外 (240V) 対応
IPコントロール
ハイビジョン映像伝送
運転席からワンマンオペレーション

SMART SNG
HD TV, 3D TV and IP OVER SATELLITE ECO OPERATION

スマート・サテライト・ニュース・ギャザリング

<http://www.bizsat.jp>

設計・製造・衛星通信のことなら
エーティコミュニケーションズ株式会社
TEL: 03-5772-9125

Communications k.k.